



芳賀町代表チーム「CAMEL」が全国大会で準優勝！

10月15日(土)から17日(月)までの3日間、軟式野球の高松宮賜杯第60回全日本大会が宇都宮清原球場など県内5カ所の野球場で開催され、栃木県代表で芳賀町代表チームのCAMELが、見事準優勝に輝きました。

10月28日(金)、細沼監督をはじめ3選手が、準優勝の報告をするために見目町長と古塚教育長を表敬訪問しました。見目町長は

「同級生チームで全国大会準優勝は素晴らしいこと。今後も長く野球を続けてほしい」と健闘をたたえていました。細沼監督は「3日間で5試合はきつかったが、毎試合ヒーローが生まれて良く戦った」と選手をねぎらい、阿部主将は「選手のやりくりは大変だったが、自分たちのスタイルで戦えた。できれば優勝したかった」と悔しさをにじませていました。



ホンダエンジニアリングソフトボール部が岩手国体で優勝！

10月2日(日)から岩手県で開催された国民体育大会男子ソフトボール競技で、栃木県代表チームのホンダエンジニアリングが見事優勝しました。

10月28日(金)、河合執行役員をはじめ三村監督他12人の選手が、見目町長に優勝の報告をするため役場を訪問しました。見目町長は「国体開催前に皆さんとお会いし、優勝

することを約束した。約束を守っていただきありがとうございます。町民を代表して、感謝します」とねぎらいの言葉を贈っていました。三村監督は「チームの特徴は、投打のバランスがよく、粘り強いところです。全日本選手権でも優勝できるよう頑張ります」と次の大会に向けて闘志を燃やしていました。



農業委員会が 変わります

町農業委員会(農政課内) ☎028(677)6047

平成28年4月1日に改正農業委員会法が施行されました。新制度への移行は経過措置があるため、現在の農業委員の任期満了(平成29年7月19日)後に移行します。主な内容は次のとおりです。

1 農業委員の選出方法が公選制から推薦・公募制へ

農業委員の選出方法は、公職選挙法に基づくものから、町長が議会の同意を経て任命する方法に変わります。

町長は、農業者や自治会から候補者の推薦を求め、同時に公募も行います。

また、①原則、認定農業者が過半数を占めること②農業者以外の者で中立的な立場の者が1人以上いること③女性や青年の登用に配慮すること④委員の定数は、委員会を機動的に開催できるよう現行の半分程度とすることが求められます。



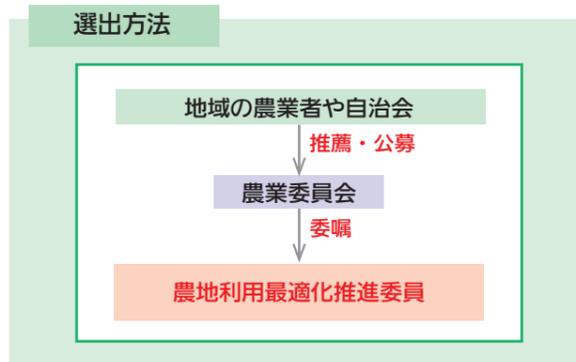
農業委員会の役割：農地の賃借・売買の許可、決定等および農地転用許可への意見の検討

2 農地利用最適化推進委員の新設

農業委員とは別に、各地域において農地の賃借、売買等を推進する「農地利用最適化推進委員」が設置されます。

地域の農業者や自治会に候補者の推薦を求め、同時に公募を行い、農業委員会が区域ごとに農地利用最適化推進委員を委嘱します。

農地利用最適化推進委員の役割：担当地区での担い手への農地利用の集積、耕作放棄地の発生防止・解消等



町では現在、新体制移行に向けた準備を進めています。詳細が決定しましたら、随時、広報はがやホームページなどでお知らせしていきます。